

各位



平成 30 年 6 月 11 日

会社名 株式会社テンポスホールディングス
代表者名 代表取締役社長 森下 篤史
(コード番号：2751 JASDAQ)
問合せ先 広報担当 谷口 光児
TEL 03-3736-0319(代表)

連結子会社（キッチンテクノ株式会社）の業績に関するお知らせ

当社連結子会社のキッチンテクノ株式会社（代表取締役社長：森下 和光 本社：東京都新宿区）は、本日付けで平成 30 年 3 月期通期の業績を下記の通りお知らせします。

平成 30 年 3 月期 通期決算の業績（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成 30 年 3 月期	2,806	137	138	81
平成 29 年 3 月期	3,021	120	122	80
増減率	△7.1%	14.2%	13.1%	1.3%

当期におきましては、売上高は大型物件の受注減少と外食チェーン店の新規出店の抑制により前年同期比 7.1%減、2 億 15 百万円の減収となり、28 億 6 百万円となりました。

大型物件の受注が見込めないため、小規模でも粗利率が高いプロジェクトに参加するため、適正人員体制の構築と社用車等、経費の予算管理を徹底させる経費削減を図りました。その結果、大手スーパーチェーンのリニューアルオープン、機器の更新工事、ベーカーリーの充実、特殊機器の導入による生産コスト改善、衛生管理機器の導入など多くのプロジェクトに参加し、定年退職者による人件費削減と合わせて営業費率は前年同期比 0.9%減の 26 億 68 百万円に抑えることが出来ました。この結果、営業利益は前年同期比 14.2%増、17 百万円増の 1 億 37 百万円、経常利益は 13.1%増、16 百万円増の 1 億 38 百万円となりました。

これに加えて、新たな試みとして大手スーパーの新規オープン時に中古厨房機器を納品するという、これまで前例のなかった提案が受注へと結びつき、新規開拓の成果をあげています。さらに、テンポスグループとの連携を活かした提案営業として、中堅外食企業に対して椅子・テーブルなど家具の提案から参入を図るなどした結果、新規顧客登録社数は 433 件増加し 981 件となりました。なかでも今期は掛売客が増加したことより、今後の継続取引が見込まれています。

さらに、大手外食企業向けに輸入したマネージャーデスクや、調理用実習台など、海外製品を注目商品として販売するなど、新しい提案営業ができる体制を確立し、さらなる拡大を目指してまいります。

以上